

産業教育委員会先進地行政視察報告書

期 日 令和5年5月22日（月）～23日（火）【1泊2日】

調 査 市 長崎県 松浦市（5月22日訪問）
佐賀県 武雄市（5月23日訪問）

出張者 委員長 吉留 良三 ・ 副委員長 中里 純人
委員 西田 憲智 ・ 委員 田畑 和彦
委員 東 育代 ・ 委員 下迫田 良信
委員 濱田 尚 ・ 随 員 神蘭 敦子
当 局 シティセールス課長補佐 大竹 佳代

上記のことについて、次のとおり報告する。

今回の先進地行政視察では、長崎県松浦市と佐賀県武雄市の2市を調査した。

松浦市は、耕作放棄地解消活動に取り組んでおり、平成30年度「第10回耕作放棄地発生防止・解消活動農林水産大臣賞」を受賞している。また、「松浦市産品戦略推進事業」として、市の産品をブランド化し販売経路の拡大を効果的に推進している。

武雄市は、「官」のシステムに、「民」のノウハウや活力を融合させ、公教育のより一層の充実を図るため、「官民一体型学校」を実施している。また、全国に先駆けて学校現場へのタブレット整備を行い、ICTを活用した教育を進めている。

【松 浦 市】 調査項目：耕作放棄地発生防止・解消活動について 松浦市産品戦略推進事業について

松浦市は、長崎県の北松浦半島北東部に位置し、北は玄界灘から伊万里湾に面し、東は佐賀県伊万里市に接している。市域南側の内陸部は溶岩台地の丘陵地で、平地は少ない。川は坂瀬川・竜尾川・志佐川・調川川・今福川などが流れ、河口には「ぎぎが浜」に代表される鳴き砂がある。伊万里湾の沖合いに浮かぶ福島・鷹島・黒島・飛島・青島の各島を行政区画としており、この中で、平成の大合併前まで単独で町制を施行していた2島のうち、福島は1967年（昭和42年）に隣の佐賀県伊万里市との間に福島大橋が架橋され、鷹島も2009年（平成21年）に唐津市との間に鷹島肥前大橋が架橋された。このように2島では経済的、地理的には松浦市本土だけでなく佐賀県とのつながりも強い。「アジ」水揚げ日本一で、「アジフライの聖地」を宣言し、まちおこしを行っている。

耕作放棄地発生防止・解消活動

松浦市では、平成20年度に撮影した航空写真に公図、地番図等を重ねて、市独自のGIS（地

理情報システム）を確立した。松浦市農業委員会は、この GIS を耕作放棄地の解消活動に活用するため、耕作放棄地全体調査を実施し、その結果に農地台帳情報を付加してデータベース化、GIS から出力した航空写真に反映させ、耕作放棄地の分布を地図化した。この地図をもとに、平成 22 年～23 年にかけて、市内を町単位（8 地区）に分け、担い手（認定農業者）参加のマッチング会を実施し、平成 23 年から 28 年度の 6 年間で 60.3ha の耕作放棄地の解消につながった。

また、農地流動化を推進し、担い手農家への集積及び有効利用による農地の遊休化を防止するため農地の借り手に対して助成金を交付する「担い手農地集積促進借り手助成金制度」を市の単独事業で実施しており、農地集積の促進が図られ、耕作放棄地解消活動を後押ししている。

「担い手農地集積促進借り手助成金制度」とは

市内に住所を有する農家等が利用権設定を受けたあと 50a 以上となる農家または農地所有適格法人で、5 年以上の賃借権を設定した農地に、二作作付、転作、耕作放棄地解消、放牧の実施で交付するもの。新規借受の場合は、5 年以上 10 年未満で 16,000 円/10a、10 年以上で 35,000 円、再設定の場合は、5 年以上 10 年未満で 8,000 円/10a、10 年以上で 17,500 円/10a を交付する。（交付は初年度に 1 回限り。年間予算で 800 万円から 900 万円程度が必要。）

【所感】

- ・農業委員会会長の「非農地処理して数値目標を達成するのは簡単だが、私は耕作放棄地の解消に取り組む」という強い意志とリーダーシップがあって成功したものと思う。
- ・積極的な担い手への支援や農業委員会との情報共有、マッチング会などの事例を参考にし、本市でも取組を検討する必要性を感じた。
- ・遊休農地の発生には多くの原因があるが、それを今一度しっかり調査、研究し、知恵を出しながら、発生防止に取り組まなければならないと感じた。
- ・農業委員 19 人、農地利用最適化推進委員 18 人、事務局職員 8 人という豊富な人員により、積極的な活動につながっていると感じた。

松浦市産品戦略推進事業

令和 2 年度より実施している「松浦市産品戦略推進事業」は、松浦市の産品をブランド化し、販路の拡大を効果的に推進することによって、生産者の所得拡大、後継者育成、及び松浦市の PR に繋げることを目的とする事業である。「3つの定義」、「5つの基準」があり、すべてを満たした松浦の「これぞ」という逸品である 12 品目を戦略産品「松浦の極み」として認定している。なかでも、日本有数の水揚げ量を誇る「松浦魚市場」を有し水揚げ日本一の「アジ」を市の知名度アップと地域活性化に活かし、2019 年 4 月「アジフライの聖地」であることを宣言し、PR したことにより「アジフライ」を返礼品とするふるさと納税の件数、寄附額が増えており、成果をあげている。

市の取組としては、生産者、百貨店、農協、漁協、道の駅、市職員などを委員とした産品戦略推進会議を開催し、事業計画等の報告、意見交換を実施。また、都市部のバイヤーを招聘した地元商談会の開催、FCP シート（商品の履歴書）の作成作業の指導、都市部でのイベント開催により販路拡大に取り組んでいる。

現状の課題として、生産ロッドの確保、首都圏への鮮度維持と送料、後継者育成、事業者のやる気の醸成がある。

松浦市産品戦略「3つの定義」

- ①松浦市の産品の核となるもの。
- ②消費者・流通関係者に対し、基準と価値が守られ安定的に提供し続けられるもの。
- ③消費者・流通関係者から他地域の産品との差別化が評価され、信頼され、選好され、又、松浦市のPRにも寄与するもの。

戦略産品「5つの基準」

- ①市内で生産・水揚げされたもの。又はそれらを使って加工されたもの。及び松浦の技術をもって加工されたもの。
- ②生産者等自身に、松浦市産品戦略への意欲があること。
- ③松浦市が持つ地域資源や歴史文化風土等の特色があること。
- ④他地域の産品との価値の違いや差別化が認められること。
- ⑤安全で安定的な生産体制があること。又は将来的な見込みがあること。



松浦の極み（12品目）



松浦魚市場

日本有数の水揚げ量を誇る「松浦魚市場」を有する。

中でもアジの水揚げ量は日本一！

高度衛生化閉鎖型施設（陸揚げ・選別・荷捌き・冷凍・出荷まで一貫は日本初）

EU-HACCPの施設認定（令和4年3月）



【所感】

- ・市長が「アジ」の水揚げ日本一を活かし、「アジフライの聖地」として宣言し、まち一体となって推し進めていることに地元の誇りを感じ、成功のカギだと感じた。
- ・市長はじめ、職員のやる気を感じた。一つの目標と一緒に取り組むことが大事である。
- ・本市においても、漁業振興やまちの活性化は喫緊の課題であり、同じ規模の自治体として、行政が主導的に推進する取組や協力体制など参考になると感じた。
- ・特産品を一つに絞って集中的に発信することは、まちのイメージや注目度のアップにつながり、結果として他の特産品まで周知することになり、効果的な取組だと感じた。
- ・「松浦の極み」と命名し、認定シールや認定カタログで売り出す企画力、PR方法が効果的であると感じた。
- ・あるものに付加価値をつける取組は素晴らしいと思った。

【武 雄 市】

調査項目：官民一体型学校「武雄花まる学園」・ICT を活用した教育について

佐賀県の西部、佐賀市の西約 28 km、佐世保市の東約 30 km の場所に位置する。地形は低山と盆地と川沿いの平地が入り組む地勢である。市域南東部の武雄盆地の西の端と、市域西側の盆地に人口が集中しており、他の地域は山林である。山林面積は 50% を占め、佐賀県内を横断する松浦川と六角川の源流を持ち、武雄盆地内を武雄川・高橋川などの小流が六角川に注いでいる。市の中心部には、舟の形をしたシンボリックな山「御船山」、西部には谷を挟んで向きあう雌岩・雄岩、「21 世紀に残したい日本の自然百選」にも選ばれた「黒髪山」、樹齢 3,000 年を超える 3 本の大楠があり、雄大な山々と豊かな自然に囲まれており、盆地地形のため内陸的な気候である。また、1,300 年の歴史を誇る温泉郷、420 年以上の歴史を誇る陶芸の里、そして巨木の里として広く知られている。

官民一体型学校「武雄花まる学園」

市長主導により、人口の地域間格差、不登校問題を解消するための独自の教育として、平成 27 年 4 月公立小学校と民間学習塾「花まる学習会」による「官民一体型学校」が創設された。官民一体型学校は、「官」のシステムに、「民」のノウハウや活力を融合させ、公教育のより一層の充実を図り、「楽しく学ぶ。みんなで学ぶ。」を基本理念とし、個の力、集団の力を最大限に伸ばす教育に最適な環境を創りだすことを目的としている。主な活動は、朝の時間を活用した「花まるタイム」があり、授業は先生が行い、地域住民がボランティアで参加し、丸付けなど補助活動を行う。花まる学習会の社員 2 人が武雄市に常駐し、各学校を巡回しながら先生と連携し、民間学習塾で確立された学習方法の中から、それぞれの学校、社会の変化に合わせて、新しい学習メニューを取り入れて運営している。

「官民一体型学校」を導入し、移住を含めて人口は増えており、「花まる学園」があったから

移住を決めたという人もいます。不登校問題については、「学校に行くきっかけになるのでは」との期待をしていたが、不登校の子どもには個々の事情があるため解消には至っていない。

花まるタイム (モジュール授業)

朝の時間(15分)を活用し、学習の土台となる「学び」を5分位の間隔でテンポよく行う。「静」と「動」を交替で行うことが特徴であり、子どもたちは、学習するだけでなく、はじめも学ぶ。小1～小6まで学校全体での取組であり、導入当初は毎日実施していたが、現在は週3日実施。

時間割のイメージ

通常の教科等の授業の中に「花まる学習会」が培ってきたノウハウを大胆に活かした授業を行います。

「花まるタイム (モジュール授業)」

	月	火	水	木	金
朝の時間	四字熟語 キューブ サボテン あさがお	四字熟語 キューブ サボテン あさがお	集会 読みかせ など	たんぽぽ パターン メーカー あさがお	たんぽぽ パターン メーカー あさがお
1時間目	国語	算数	体育	算数	国語
2時間目	国語	算数	外国語	国語	国語
3時間目	体育	理科	社会	体育	音楽
4時間目	理科	社会	国語	社会	算数
5校時 給食					
6時間目	図工	学活	道徳	国語	青空教室
7時間目	家庭科	委員会	家庭科	家庭科	家庭科

※給食の時間を5時間目と位置付けています。

2ヵ月1回の 青空教室

スマイル学習とは?

(武雄市反転授業)

タブレット端末を家庭に持ち帰り動画を使って予習をした上で、学校で学びあひあひの授業を行う武雄市にて独自に行われている授業。

なぜベー授業とは?

21世紀型能力の核となる「思考力」を養う目的で、花まる学習会のメソッドを取り入れながら構成した新しい形の授業。マンガの「オチ」を想像することを通して「創造性」を養う「たこマン」や「論理性」「空間認識」「平面認識」などの力を養う「なまべー」など子どもが常に前のめりで「楽しい、もっとやりたい」と思える授業を実施。

花まるタイム (モジュール授業)

朝の時間(15分)を活用し、学習の土台作りとなる学びを5分位の間隔でテンポよく行います。

四字熟語

フレーズを自然に覚えるように、言から入った音を出して記憶する。基礎教養としての「四字熟語」を「音」で覚えていきます。大きな声で発音する楽しさを知ることも目的の一つです。

キューブキューブ

木製のブロックを使い、実際の操作実験を通じて脳のイメージだけでピースを回転したり、裏側から見た図を想像することにより、遊び感覚の中から空間認識力を磨いていきます。

サボテン

計算問題の反復学習です。他の人との比較ではなく、前の自分よりのびる事を目的として進めていきます。出来なかった問題のやり取りを行います。翌日には新しい問題を行います。

たんぽぽ

日本語の書きの楽しさ、リズムの素晴らしいなどを「音」としてかみしめ、暗唱する事が目的です。基礎教養を身につけ、日本語の語感を育てます。

パターンメーカー

フラッシュカード形式で4枚のカードを使って、平面図形の認識能力を訓練するものです。一瞬だけ提示したカードを目に焼き付けて、4枚のカードをより早く正確に並べて形を作ります。

あさがお

日本の名文・詩などを文章に書き写すものです。長時間学習に必要な不可欠な「正しい姿勢」「正しい鉛筆の持ち方」を指導します。板書の量が増えた時に対応出来る「適度な速さで書く事」を重視します。

青空教室

教室を飛び出し、校庭や校外で自然とふれあひながら、いろんな体験や発見をし、学び合う授業です。



青空教室の5つのねらい

- ①五感を使い、座学では体験できない気づきや発見を得る。
- ②遊び心を持ちながら、自然のものと触れる。
- ③体を動かし、体全体で物事を感じる感受性を豊かにする。
- ④異学年・異性による班編成により、相手への思いやり、協力すること、自分の気持ちを伝えることなど、社会で生きていくに必要な力を育てる。
- ⑤学校内や学校周辺の環境に接することで、その良さを発見し、母校や故郷への愛情を育てる。

子どもたちは外が大好きです。大好きな場所でみんなと一緒に遊んだり考えたりすることで、コミュニケーション能力を高めます。また、縦割り班のなかで年下への思いやりやリーダーシップを育成します。

費用負担

花まる学習会の教材費が3,000円程度であり、保護者が1,000円、残りを市が負担している。教材費以外は、常駐している2人の人件費であるが、花まる学習会と相互に負担している。(武雄市に常駐しているが、オンライン等で花まる学習会の仕事もしているため。)

保護者からの意見

勉強だけでなく、地域の人と会うことで、子どもたちと地域のつながりができることもメリットだと感じるとの意見もあり、プラスの評価の方が多い。

【所 感】

- ・地域ボランティアが参加することにより、子どもと地域のつながりが出来ることは評価できる。
- ・「静」と「動」を取り入れ、礼儀作法、思いやりのところを育てる教育。今一度、教育の原点を見つめることも、時には良いことかと思った。
- ・挨拶、片付け、思いやりなどの生きる力においては一定の成果があるが、学力向上については検証することが難しいとの説明があり、思うような成果は得られていないようであった。
- ・今回は行政側の説明を受けたが、機会があれば、子どもたち、保護者、先生、参加している地域ボランティアの声を聞き、実際の授業を見てみたいと思った。
- ・地域ボランティアなどの人員確保、調整等についても特に問題は発生していないとの説明があり、地域との協力体制が確立していると感じた。
- ・子どもたちの複雑多様化する学校環境・学習環境を補完する意味で有効だと感じた。

ICT を活用した教育

ICT を活用した教育は、情報化社会への対応力の育成に加え、子どもたちのいろんな可能性を伸ばし、21 世紀を生きぬく力を育むツールとして、非常に有効なものである。武雄市は、2010 年 12 月に全国に先駆けて学校現場へのタブレットの整備を始め、2020 年には国の事業である「GIGA スクール構想」により、小学校 1 年生から中学校 3 年生のすべての児童生徒の学習用端末を同一機種に更新しており、日本の ICT 教育をリードしている。主な取組としては、スマイル学習（武雄式反転授業）、プログラミング教育、ドリル活用、遠隔授業、デジタル教科書がある。現在では、子どもたちを誰一人として取り残すことなく、一人ひとりに応じた学びを実現するために、学習者用端末を文房具のように日常的に活用し、家庭でも学び続けられるように取り組んでおり、今年度は、文部科学省が実施している「リーディング DX スクール事業」の拠点校として、2 校指定を受けている。

スマイル学習（武雄式反転授業）

授業前日に学習用端末を家庭に持ち帰り、動画を活用した予習を行い翌日の授業に臨む。事前に予習することで、授業の中では通常の授業より話し合いや学びあいなどを中心として協働学習を行う。

リーディング DX スクール事業

1 人 1 台端末の活用状況を把握、分析するとともに、効果的な実践例を創出・モデル化し、都道府県等の域内で校種を超えて横展開するとともに全国に広げていくことで、全国のすべての学校で ICT の「普段使い」による教育活動の高度化を図る。

【所 感】

- ・ ICT を活用して、自宅で予習として個々でのインプット、授業では情報共有しながら問題解決するアウトプット、これを繰り返すことにより学びへの意欲や主体的に学ぶ児童が増えてくるのではと感じた。
- ・ 自宅での予習については、すべての生徒が家庭環境等に関わりなく予習し、当日の授業に参加できているのか疑問が残る。
- ・ 反転授業は授業時間の確保にもつながり、参考になる。指導する教師へのスキルアップ研修も重要になると感じた。
- ・ 日々進化し続ける情報環境に対応すべく、先進的に対処していく必要性を感じた。



【武雄市議会議場にて】

【武雄市図書館 視察】

平成 12 年 10 月…開館

平成 25 年 4 月…施設をリニューアルし、
指定管理者での運営開始

平成 29 年 10 月…こども図書館の運営開始

「市民の生活をより豊かにする図書館」をコンセプトにカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社が運営している図書館です。

蔦屋書店とスターバックコーヒーを併設しており、本や雑誌、雑貨の購入もでき、様々なワークショップや講座も随時行われています。



武雄市図書館



こども図書館

- ・ 開館時間 午前 9 時～午後 9 時
365 日年中無休
- ・ 令和 3 年度 蔵書数 約 25 万冊
入館者数 約 75 万人
図書利用者数 約 12 万人
※こども図書館を含む総数
- ・ 指定管理料
令和 5 年度から令和 9 年度までの
5 年間で 9 億 4,996 万 5,000 円